

令和七年

松香 Komunikado

令和七年七月度 月次祭 ごあいさつ

分苑長 山本 健

Bonan tagon-

ただいまは、令和七年七月度の月次祭を、さすがしく斎行させて頂きました。準備して下さった方々、オンラインを含め参拝して下さいました皆様方に、御礼申し上げます。

先日、七月八日に開祖様沓島ごもり、一二〇周年、そして、沓島冠島開き一二五周年の記念祭典が、現地で行われました。私は、松香代表として、白梅殿からビデオ配信での遥拝祭に参拝させて頂きました。前日に行われた、「沓島ごもりについて」の講話よりご紹介します。

開祖様が日口戦争の必勝祈願をされたことは、ご承知のことと思いますが、単に日本を守るという意味で

七月十三日発行
第三百二十八号

大本松香分苑

豊橋市南牛川二・三・二〇

電話 ファックス

〇五三二・六三・二一七三

発行責任者 山本 健

はなく、世界平和をご祈願されたのです。もし日本がロシアに負けていれば日本だけでなく、アジアは全部ロシアはじめ西欧の属国になっていたでしょう。

開祖様は当初四十日間ごもってご祈願される予定だったそうですが、お供の漁師が、音をあげて、帰りたいと開祖様をお願いされたようで、開祖様が神様に、「帰れるように」お願いされました。すると漁船が近くに漁に来て、そのうちの一隻が立ち寄ってくれて帰ることができたのでした。

沓島は、岩だらけのため平坦で寝るところもなく、食料も一日当たり、さじに三杯程度のお米で、お水も竹筒一本であったそうです。お水は、水が滴って落ちるところを見つけて、何とか飲めるようになったようです。

開祖様は十日余りの世界平和の御祈願によつて日本の勝利を確信され、漁師に向かつて「バルチック艦隊も近日の中に対馬沖にて全滅するから安心じゃ、お前様も村へ帰つて村の人に知らせてやつて安心させるがよい」と言い残して離島されたということでした。神さまのされることは我々凡人には分かりません。自分の知恵や力に頼るのではなく、素直に大神様、歴代教主様の御教えに従つて進ませて頂くことが大切だと思います。

今回の現地参拝者は、全部で三十名ほどの方でした。皆さん一か月の潔斎をされて望んで居られました。白梅殿の遥拝際に参拝された方も、潔斎されていました。私も、遥拝祭の参拝を決めた二週間前から潔斎して臨みました。

この秋、十月十二日には、綾機平で、「綾の聖地エルサレムにて、平和の歌祭り」が斎行されます。これも重要なお神事でありますので、出来るだけ参拝されることをお勧めします。

この激動の年において、しっかりと、教主様ご指導のもと、大本の行事に出来るだけついていくようにしていきたいでしょう。

さて、六月に二回に分けて大道場修行を受けられた横山一美さまが、入信され、大神様を御下付頂き、祖霊様を復祭され、修行の最終日の帰宅後に即日鎮座されました。

ラインでも紹介させていただきましたが、皆様温かく迎えていただきますようお願い致します。横山様は、相談役の命日七月二十八日の綾部祖霊舎での四年祭にも、山本家の家族と共に、参拝してくれました。六月の松香分苑の月次祭後の相談役の四年祭にも参拝してくれて居り、相談役が導いているよ！と知らせているように思いました。横山様には、みろく殿で祖霊様のみたままつりの大切なこと、そして祖霊様を救っていただくには、大神様の鎮祭が大切であることや、万霊社についても、世界中の戦争や災害でなくなつた方を毎日ここでお祭りしていること等も説明させていただきました。

本日、相談役の講話のビデオを再度、直会後に時間をとって、流して下さるようですので、是非、見て頂ければ相談役も喜ばれると思います。

以上で、ごあいさつとさせていただきます。

Koran dankon

総務部より

総務部長 小林 善直

本年の松香分苑秋季祖霊慰霊祭は令和七年九月十四日

(日)に行います。

松香分苑秋季大祭は令和七年十月十二日(日)に斎行いたします。

ご承知おき願います。

なお、この十月十二日はご周知のように夕刻五時半より「綾の聖地エルサレム大本歌祭」が綾機平にて開催されます。

分苑大祭を終えてからの移動となりますので、各自に予定計画をしてください。